

持続可能なエネルギー・気候政策行動計画(SECAP)テンプレート 概要版(日本語)

1. 戦略

1) 誓約項目

①エネルギーの地産地消 ②温室効果ガスの大幅削減 ③気候変動などへの適応

2) 目標

緩和策				
CO2削減目標		目標年次	基準年	人口予測
	%	2020		
	%	2030		
	%	2050		

適応策		
目標	目標年次	基準年

3) 庁内体制の概要

4) スタッフ

	計画策定 人(フルタイム換算)	計画実施 人(フルタイム換算)
市町村職員		
コーディネーター		
サポーター		
外部コンサルタント		
他		

コーディネーター:都道府県の担当課職員
サポーター:NGO、研究者など

5) ステークホルダー・市民の参画

タイプ	ステークホルダー・市民の参画	参画のレベル (強・中・弱)
市町村職員		
外部ステークホルダー		
市民		

6) 実施のための予算・財源

財源	計画実施のための予算(円)			
	緩和策		適応策	
	投資的予算	非投資的予算	投資的予算	非投資的予算
市町村独自予算				
他の主体から				
国				
都道府県				
民間				
合計				

7) モニタリングプロセス概要

(例:CO2インベントリーは毎年度算定・公表。取組状況は毎年度環境審議会においてフォローアップ・公表。)

主要課題

	全セクター	エネルギー	家庭	業務	産業	交通	適応策
財源の制約							
制度的フレームワークの欠如							
技術的専門性の不足							
ステークホルダーからのサポート不足							
他の行政レベルにおけるサポート不足							
地方行政の優先順位の変化							
国の政策との不整合							
高コストな技術							

課題のレベル:「高」、「中」、「低」、「該当なし」をチェック

8) 適応オプションのアセスメントの方法

(適応策のオプションを評価するための方法(例:コスト・ベネフィット分析、マルチクライテリア分析、ステークホルダー分析など))

9) 極端な気候変動の際の戦略

(過去の極端な気候変動の被害(台風、洪水、熱波(熱中症)など)の際に得られた教訓に基づく戦略)

C CO2排出量

C1 排出係数

CO2-t

電力		熱供給	化石燃料							
広域電力	地域電力		都市ガス	LPG	灯油	軽油	ガソリン	褐炭	石炭	その他

排出係数は、「地方公共団体実行計画(区域施策編)算定・実施マニュアル 算定手法編 Ver.1.0」(平成29年3月環境省) P266-271による。

C2 非エネ起源CO2

CO2-t

廃棄物処理	
その他非エネ起源	

C3 CO2排出量

セクター	CO2排出量(t)								
	電力	熱・冷熱	化石燃料						
			都市ガス	LPG	灯油	軽油	ガソリン	石炭	その他
建物、産業									
自治体施設									
業務									
家庭									
街灯									
農林水産業									
製造業									
交通									
公用車									
公共交通									
自家用自動車									
非エネ起源									
廃棄物処理									
その他非エネ起源									

セクター	CO2排出量(t)				
	再生可能エネルギー				合計
	バイオ燃料	他のバイオ	太陽熱	地中熱	
建物、産業					
自治体施設					
業務					
家庭					
街灯					
農林水産業					
製造業					
交通					
公用車					
公共交通					
自家用自動車					
非エネ起源					
廃棄物処理					
その他非エネ起源					

3. 緩和策

行動計画	タイトル	
	策定年月日	
	承認機関	
	webpage	

	全体	公共施設	家庭	業務系	交通	産業	その他
「現状趨勢(BAU)」ケースの見通し(2020年)	CO2 t-CO2						
	最終エネ消費 GJ						
「現状趨勢(BAU)」ケースの見通し(2030年)	CO2 t-CO2						
	最終エネ消費 GJ						
「現状趨勢(BAU)」ケースの見通し(長期目標)	CO2 t-CO2						
	最終エネ消費 GJ						

BAU見通しの方法論	「現状趨勢(BAU)」ケースの推定方法は、「地方公共団体実行計画(区域施策編) 策定・実施マニュアルVer1」.(環境省、2017年3月)P211-P216による。
------------	--

4. 適応策

気候変動リスク・脆弱性

気候被害タイプ	現在のリスク		予想される将来のリスク		⑤リスクの指標
	①被害リスクの現状	②強度の変化	③頻度の変化	④タイムフレーム	
極端な気温上昇					例: 熱波の頻度・期間
極端な気温低下					例: 寒冷、降雪等の日数
極端な降水					例: 予想される降水の変化
洪水					例: 内陸部、海岸部
海面上昇					
干ばつ					
嵐(雨・雪、雷などを伴う強風)					
土砂崩れ					
森林火災					
その他					

- ①「高」「中」「低」「不明」をチェック
- ②「増加」「減少」「変化なし」「不明」をチェック
- ③「増加」「減少」「変化なし」「不明」をチェック
- ④「現在」「短期」「中期」「長期」「不明」をチェック

脆弱性のタイプ	脆弱性の記述	指標
社会・経済的側面		
物理・環境的側面		

影響を受ける政策分野	①予想される影響	②発生の可能性	③タイムフレーム	④影響に関する指標
建物	例: 冷房や断熱の需要			例: 被害建物の数
交通	例: 交通インフラの需要			例: 被害交通インフラの数、交通遮断日数
エネルギー	例: エネルギーインフラ、発電設備等の需要			例: 被害エネルギーインフラの数、エネルギー途絶日数
水道	例: 濁水・旱魃			例: 被害上下水施設の数、水供給の途絶日数
廃棄物	例: 廃棄物インフラ・処理施設の需要			例: 被害廃棄物関連インフラの数
土地利用	例: ヒートアイランド、侵食、洪水			例: 被害面積の割合
農業・林業	例: 穀物生産・生息域・森林の荒廃			例: 作物生産の変化(%), 家畜喪失頭数
環境・生物多様性	例: エコシステムの荒廃、種の移行、昆虫の侵入			例: 生息域の喪失(%)
健康	例: 病気・死亡率の増加			例: 熱中症患者の数
救急・消防	例: 災害・避難の増加			例: 災害時の救急車の平均的所要時間(分)
観光	例: 観光需要の減少			例: 観光客の数の変化
その他()	例: 民間セクターの雇用の減少			例: ()

- ①「高」「中」「低」「不明」をチェック
- ②「高」「中」「低」「不明」をチェック
- ③「現在」「短期」「中期」「長期」「不明」をチェック

適応計画

タイトル	概要	策定年月日	URL

適応行動

①セクター	②対策名	③概要	④責任主体	⑤タイムフレーム		⑥実施状況	⑦緩和への好影響
				始まり	終り		

- ①建物、交通、エネルギー、水道、廃棄物、土地利用、農業・林業、環境・生物多様性、健康、救急・消防、その他()から選択
- ⑤「まだ始まっていない」、「実施中」、「終了」、「途中でキャンセル」をチェック